

< 報告 >

1. 幼稚園における汚水処理つきトイレ7基の建設が可能となりました。

朗報！モリコロ基金から助成金 79 万円が交付されることになりました。総事業予算は 99 万円ですので、20 万円を協会費用から支出しなければなりません、大変うれしいです。幼稚園の保護者の労力奉仕を増やし、人件費を抑えて、何とか 10 万円の出費で済むようにしたいです。

2. 日本・スリランカ文化交流事業の展開

◎ わくわくスリランカ文化講座第一回（スリランカの仏教について）を 3 月 26 日（土）に行いました。大岩碩が、スリランカの仏教について、輪廻転生を中心にお話しました。参加者は 14 名で、その中に、私の小学校の同級生が居たこと、また、スリランカで修行をしたいという青年が現れたことに驚きました。東北大学のスリランカ人留学生も 1 人参加してくれました。

◎ シンハラ語講座を 4 月 2 日（土）、4 月 10 日（日）、4 月 17 日（日）、4 月 24 日（日）に、新海啓一さんと大岩碩が行いました。16 名、16 名、14 名、10 名という参加者数でした。意外に多くの方が参加されたのには驚きました。新海先生の軽妙な楽しい授業に皆大喜びでした。新役員の岸さん、小林君も協力してくれ、特に岸さんは最後の日に授業を受け持ってくれました。この最終日に、東京からわざわざ参加された会員もみえ感激しました。その方のお話しによれば、関東方面ではこうした教室はなかなか開催されないとのことで、シンハラ語教室の関東進出を考えなければ！と思いました。いやー可能性が広がりますね。

3. 会費と寄付金について

5 月 13 日現在で、会費を納めてくださった方は 95 名、その内、新入会員の方が 15 名です。「井戸掘り募金」として総額 25 万円ほどを寄付していただきました。多額のご寄付に心から感謝しています。これで、深く掘るチューブ式の井戸は予算的に無理ですが、通常の穴掘り式のものには十分作れます。スバ・ランカ農園の経営上、ありがたいことです。感謝！

< 連絡 >

1. わくわくスリランカ文化講座 第二回を開催します。

「簡単な本格スリランカ・カレーを作って楽しもう。」というスリランカカレー教室です。

日時：7 月 3 日（日） AM11:00 ~PM2:00 当日受付 AM 10:45~ 場所：名古屋市東生涯学習センター(052-932-4881) 1 階 料理室 参加費は 1 人 1000 円、定員は先着 30 名、

チキンカレー、かぼちゃカレー、ひよこ豆カレーなどを作ります。講師は、本協会役員のジャガットさんです。詳しくはHPのイベント案内をご覧ください。

参加申し込み先：下記の小林まで。会員であることをお伝えください。申し込みはお早めに！
小林裕幸(スバ・ランカ協会理事) 携帯：090-9121-6804 メール：hiro.arriba@gmail.com(携帯直通), あるいは、大岩：subalanka@tea.odn.ne.jp でも結構です。小林君に伝えます。

2. スリランカ・ツアーが今年もあります。

7月26日～8月1日 旅行費用185,000円(燃油サーチャージ等約30,000円別途)
詳しくはHPのイベント案内をご覧ください。他の旅行社ツアーにない企画が盛りだくさん。協会会員近藤譲治さん(フジトラベル)にお問い合わせください。電話:052-979-0017

3. 私、大岩は5月30日にスリランカに発ちます。現地から報告いたします。ご用の向きはEメールをお送りください。アドレスは、subalanka@tea.odn.ne.jpのままです。

<特別企画>

H23/24年度役員(理事、監事)の自己紹介です。

協会設立以来、この4年間、吉村清明さんと橋重孝さんが役員として重責を果たされました。吉村さんはこの4月から学院事務局長となって忙しい日々を送られることでしょう。また、橋さんは3月末をもって退職され、この6月からインドネシアに行かれます。当地で、大学での講義を準備されるそうです。お二人の今後のご活躍をお祈りし、紙面を借りて、今までのご協力に深く感謝いたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。

さて、今年度の新役員は以下の通りです(敬称略)。

理事 会長 大岩碩 副会長 新海啓一 K. ジャガット、鈴木正隆、廣間えり子、
山本郁郎、李大義、岸晴苗(新任)、小林裕幸(新任) 監事 鈴木方子、

皆様に、役員の方を知っていただきたいと考え、自己紹介文を書いていただきました。原稿をいただいた順に掲載いたしました。この機会に役員の方を身近に感じていただければ幸いです。

鈴木方子さん

こんにちは、鈴木方子(まさこ)です。愛知県春日井市の柏井保育園の理事長がスリランカに創立されたキムト幼稚園の開園式で、大岩先生にお目にかかり、誕生日が同じという巡り合わせで、スバ・ランカ協会の役員をお引き受けすることになりました。この活動が共に生きる社会について考えていくきっかけになればと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

鈴木正隆さん

皆さんこんにちは。鈴木正隆と申します。尾張旭市に住んでおります。役員の中では間違いな

く一番不真面目で、協会には何の役にも立っていません。大学ではヒトの運動、視覚などについて研究をしていますが、若い頃、溢れるほどに出てきたアイデアや、2～3日寝ないでも論文を書き上げてきた体力、集中力が最近……、といった感じです。しかし、年齢のせいとあれこれいうのはだめな人間です。会長の大岩先生や新海さんを見るとそのように感じます。今後は何事にもアクティブに取り組んで行きたいと思います。協会の仕事も！？。

岸 晴苗さん

アイルランドを旅行したとき、そこで聞いた「北海道とアイルランドとスリランカはほぼ同じ大きさの島で、どこもすばらしい！」という言葉に引きつけられたのがスリランカ訪問のきっかけ。以来スリランカに魅了され、日本語教師として約6年間生活しました。スバランカ協会の活動を通して、今までとは違った立場からスリランカと関係を築き、お世話になったスリランカに何らかの恩返しをしたいと思っています。

廣間えり子さん

里山環境保全、環境学習中心にボランティア活動しています。一般市民参加型の環境大学の講座も仲間と講師を担当。しいたけの穂だ木作り、ドングリの森づくり、間伐体験、ネイチャーゲームなど自然と関わっています。なごや環境塾4期生。又、地域の子供たちと河川の水質調査、水生生物調査を年間を通じて実施。水の汚れ、水の大切さを子供たちに伝えています。こどもエコクラブのサポーターとして活動中。2009年愛知県代表としてこどもエコクラブ全国フェスティバル2009に参加。趣味は 一人旅 国内の歴史探訪遺跡・史跡巡り、マンドリン合奏を楽しむこと。

新海啓一さん

同じ仏教国であるスリランカの人達は日本に対して尊敬の念を持っています。コロンボ大学大学院で日本語講師をしたのが縁で両国の架け橋活動をしています。今 スリランカでは日本語が大人気です。近い将来、日本語学校を設立したいです。また、スリランカと日本がさらに親密になり、交流が活発になり、両国が発展することを願い微力ながら頑張ろうと思います。

山本郁郎さん

山本郁郎と申します。1946年、名古屋生まれの名古屋育ち。生粋の“なごやん”です。中・高とバスケットボールに明け暮れ、青春を謳歌。名古屋大学では経済学を学びました。在学中経済学そっちのけで乱読、雑読にふけりました。のんびりした時代でした。その後ウェーバーに首を突っ込み、日本の労働研究をかじりと、ゆくえ定めぬ徒弟時代を送りました。金城学院大学勤務です。1985-6年に在外研修でジャカルタに1年滞在、暮らしが肌に合っただけかアジア・インドネシア研究に力を入れることになりました。妻とはこの時一緒になりました。やはり言葉でいえば肉食系。「書を捨てて街へ」派です。でも、これまで人助けに積極的に動いたことがなく、スバ協理事長で友人の大岩さんの活動に声援を送るくらい。そろそろ人生の最終章、納得のいく「シメ」を考えねば。

小林裕幸さん

トライアスロンを目指す、4ヶ国語の翻訳通訳者（半分以上ボランティア）、34歳です。大学

在学中に30カ国以上を貧乏放浪しながら留学もしました。卒業後は青年海外協力隊に参加し、スリランカでの開発業務を担おうとするも未派遣に。ここでスリランカとの縁ができました。その後は海外経験と語学力を買われて名古屋で民間企業を渡り歩き、今に至ります。

この地球上の民族、地域、文化に上下優劣などありません。スリランカと日本を結ぶ活動を通じて、そんな当たり前で基本的なことを共に考えることができると願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

李 大義さん

皆様、こんにちは。李大義（リデウイ）と申します。私は韓国生まれの韓国育ちです。留学生として来日してからもはや21年の歳月が経ちました。私の専門が国際開発論ということもあり、発展途上国出身の方々と一緒に研究活動を行なって参りました。私の研究実践地として、スリランカは適切な場所だと思っています。このようにスバ・ランカ協会と出会うことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。近い将来、スリランカにおける教育環境の改善、農村開発、地域開発などのために頑張りたいと思います。皆様のご健勝を祈ります。

ジャガタ クマーラさん（英訳：大岩）

スリランカ・シュリージャヤワルダナ大学理学部卒業。セイロン銀行に勤める。1993年に来日し、名古屋大学大学院の研究生を経て、1997年に、同大学院国際開発研究科の修士課程を修了。専攻は国際協力の環境政策。4年間民間の企業で働き学費をためて再び名大大学院農学研究科の博士課程に入る。農業経済を専攻し、スリランカのプランテーションにおける環境と経営の関連について研究し博士号を取得。経営との関連を考慮しながら、二酸化炭素の削減をどのように実現するかを分析した。今は、名古屋大学工学研究科の研究員としてプラズマの有効利用の研究をしている。将来、スリランカにおける環境教育を充実させるために貢献したい。そのために協会の理事として頑張りたい。

以上です。（文責：大岩碩）